

I はじめに

1. 策定の趣旨

人口減少社会・少子高齢社会の到来、分権型社会や市町村合併の進展など、地域社会を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした中で、県内のまちの現状は、中心市街地の商店街の衰退によるまちの空洞化、効外部における大規模集客施設の相次ぐ立地や大規模団地での高齢化の進展、農山村部では著しい人口減少や高齢化により過疎化がさらに進むなど、そこに住む人々にとっては危機的な状況にあります。こうした中、県民のまちづくりに対する関心は高まりつつあり、地域ではこのような危機的な状況を自分たちの力で何とかしていこうとする様々な取組がなされています。

しかし、住民が主体となった意欲あるまちづくりにより、一部ではまちの活力を取り戻しつつあるものの、その多くはまちづくりに対して様々な課題を抱えています。

もとより、まちづくりは地域の住民や市町村が中心となる活動であり、「まち」のビジョン（将来像）は、地域自らが個性と資源を活かして考えるものです。しかしながら、昨年度、県民とともに進めてきた政策総点検において、「まちづくり」に対する県の姿勢を問う声や、県の関与を期待する声が多く聞かれ、都市部の中心市街地のみならず、農山村部も含めた県全体のまちづくりについて、県自らも明確な考え方をもち積極的に関与すべきであると強く求められたところです。

このような県民の皆様からの意見を踏まえ、県では、「ぎふ まちづくり応援プラン」を策定することとしました。

本プランを、県が、地域のまちづくりを応援するための、今後5年間の指針として位置づけ、地域住民と市町村が一緒になったまちづくりを推進することを目指し、県のまちづくり支援姿勢や支援体制、取組の方向性を明示することとします。

また、まちづくりは、地域住民、市町村、関係団体など、まちづくりに関わる様々な人たちが、互いに連携し、魅力あるまちづくりに向け、総合的に取り組むものです。

今回のプランの策定を、県が地域と手を携えて進める「まちづくり活動」のスタートラインとして位置づけ、県内のあらゆるところで自立と連携によるまちづくりが進み、地域が元気になるよう応援していきたいと考えています。

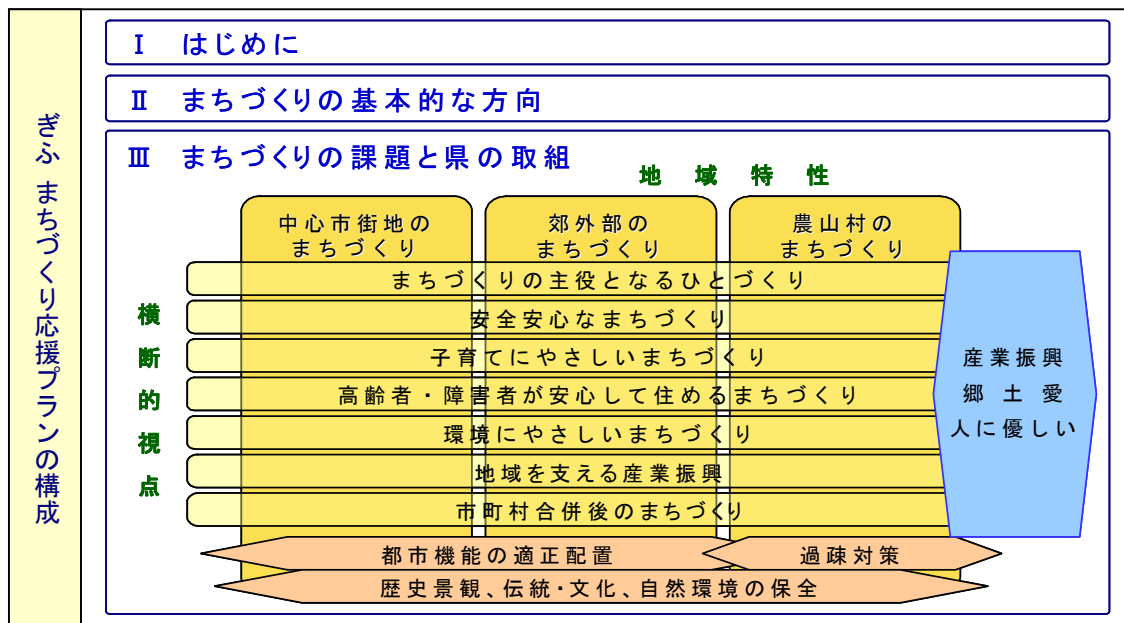
2. 本プランの構成

本プランでは、まちづくりへの県の取組姿勢とともに、それぞれの地域でまちづくりを進めていくうえでの課題と、それに対する県の取組を示していきます。

まちづくりの課題と県の取組は、「中心市街地」「郊外部」「農山村部」といった地域特性に応じて示していく一方、どのような地域においても、まちづくりを進めるうえで踏まなければならない、「人づくり」、「安全・安心」等の視点からも、課題を整理し、そ

れに対する県の取組を示すこととします。

なお、本プランの作成にあたっては、プランが現状に即したものとなるよう、地域のまちづくり現場に出向き、まちづくりに取り組んでいる皆さんのお話を伺いました。まちづくり活動を行っている多くの方々の参考となるよう、収集した取組の内容を事例集として別冊で整理して示します。



3. 本プランの性格

県では、政策総点検を踏まえて、各部局において様々なビジョン・計画の策定を進めています。「まちづくり」は総合的なテーマであり、各部局の施策に横断的に関係します。

このため、「岐阜県産業振興ビジョン」「岐阜県ブランド戦略」「ぎふ農業・農村振興ビジョン」「岐阜県森林づくり基本計画」「県土整備ビジョン」「岐阜県都市政策に関する基本方針」「岐阜県住生活基本計画」など、密接に関連するビジョン・計画の要旨を、「ぎふまちづくり応援プラン」においても踏まえながら整理し、各分野に共通する政策指針として策定するものです。

